

島エコだより No.03

2021年 July



近くの海辺を散策しよう!!



トカゲハゼ



ベニシオマネキ



ルリマダラシオマネキ

沖縄県は大小160の島々からなり、周囲には、色とりどりのサンゴが育ち、外洋の荒波から島々を守るようにサンゴ礁が取り囲んでいます。そのため海岸線の多くは遠浅となり、サンゴのかけらや貝殻、星砂などからできた白い砂浜や潮間帯には岩礁や潮だまり、河口や湾の奥域などには干潟やマングローブ林など変化に富んだ様々な自然環境があります。また、日本で沖縄本島だけに棲む希少なトカゲハゼや大きなハサミをふるシオマネキの仲間たちなど多種多様な海の生き物が生息しています。



散策しやすい海岸情報(沖縄本島)



浦添市HP



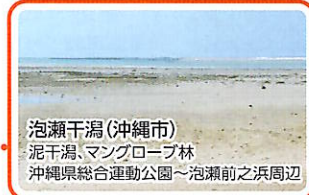
カーミーズ(浦添市)
岩礁、潮だまり、里浜ビーチ



伊芸ビーチ(金武町)
天然の砂浜
伊芸海浜公園内



金武町
公式観光情報



泡瀬干潟(沖縄市)
泥干潟、マングローブ林
沖縄県総合運動公園～泡瀬前之浜周辺



沖縄総合事務局
那覇港湾・
空港整備事務所
中城湾港出張所HP



具志干潟(那覇市)
泥干潟、マングローブ林
那覇市具志875スカイレーン東



那覇市観光資源
データベース



佐敷干潟(南城市)
泥干潟、マングローブ林
南城市文化センター(シュガーホール)裏



南城市HP
(広報誌pdf)



糸満市HP



大度浜海岸(糸満市)
岩礁、潮だまり、ジョシ万ビーチ

◇散策時に注意すること

- ・事前に天候や潮の干満時間を確認しましょう
- ・熱中症やケガなどの事故に備えましょう
- ・海にはキケンな生き物もいます。事前にガイドブックなどで確認しましょう
- ・環境保護のため生き物や岩、貝殻など取ったり移動したりしないようにしましょう
- ・持参物やゴミは放置せず必ず持ち帰りましょう
- ・迷惑駐車をしない・混雑時の利用は自粛するなど近隣住民への配慮を心がけましょう



特集 オススメ夏休み自由研究



マイクロプラスチック調査

砂浜に打ち上げられた大量のプラスチック類を見たことはありませんか？海を漂うプラスチックごみは、2050年には海の魚の重量を超えると試算され世界中で大きな問題になっています。さらに、太陽の紫外線で劣化し細かく砕けるなど大きさが5mm以下になったプラスチックごみはマイクロプラスチックと呼ばれ、小型の生き物にも誤食されやすくなり食物連鎖によって多くの生き物に取り込まれ悪い影響を及ぼす恐れや、細かいマイクロプラスチックほど回収が困難になるなど深刻な問題になっています。



近所の砂浜でマイクロプラスチックを調べてみよう！

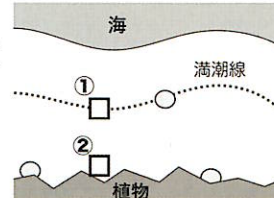
用意するもの

- ・ポリバケツ
(容量10～15リットル程度)
- ・ちりとり2個(幅25cm)
- ・ふるい(目合い5mm)
- ・観賞魚用ネット・トレー



調査する場所

- ①その日の満潮線付近
- ②砂浜上部の植物の生えているところ



調査方法

□マイクロプラスチックの採集(砂浜での作業)

- ①25cm×25cm四方の枠の中で深さ1cm砂ごと採集する(大きな石や小枝、海藻などを取り除き25cm幅のちりとり2つ使うと簡単に採集できます)



- ②海水を半分くらい入れたバケツの上で採集した砂を5mm目合のふるいにかける(バケツに落ちたものにマイクロプラスチックが含まれています)



- ③バケツの水をかき混ぜ、30秒以上静置した後、水に浮かんだ人口物を観賞魚用ネットですくい、トレーに集める(この作業を3回繰り返す)
- ④ふるいに残った5mm以上のプラスチックもトレーに集める



※バケツに残った砂や海水は海に戻しましょう！

□マイクロプラスチックの集計(屋内で作業してもよい)

- ①マイクロプラスチックをプラスチック片・発泡スチロール・プラスチック繊維・レジンペレット・その他に分けて数える
- ②5mm以上のプラスチックも同じように分けて数える
- ③数えた結果を集計用紙に記録する



レジンペレット(プラスチックの原料)



調査結果からどんなことが分かったかな？気づいたことをまとめよう！

※参考:おきなわ環境教育プログラム集(社会教育編)⑭『意外なところにプラスチック』▶



☆講座情報☆

夏の自由研究!『海の観察とマイクロプラスチック』連続講座

開催日:1日目 8/ 9(月) 12:00～16:00(11:45受付開始)

2日目 8/10(火) 10:00～15:00(9:45受付開始)

対象:小学4年生以上(保護者同伴) 2日間連続受講できる方

※新型コロナウイルス感染状況により予定が変更になる場合があります。

講師:鹿谷麻夕・鹿谷法一(しかたに自然案内)

参加費:無料

お問合せ・お申し込み:電話 098-933-4190

▼今後予定されているイベント・体験講座については次のとおりです。 新型コロナウイルス感染状況により予定が変更になる場合があります。

日程	開催時間	開催内容	開催場所
8/8(日)・15(日)	10:00～12:00	『植物標本作り連続講座』	沖縄市 沖縄こどもの国
8/29(日)	10:00～12:00	『草木染め講座』	沖縄市 沖縄こどもの国
9/5(日)	10:00～12:00	『防災月間体験プログラム ロープワーク体験講座』	沖縄市 沖縄こどもの国
9/18(土)	18:30～20:30	『夜の自然観察会』	那覇市 末吉公園(森の家みんな)
9/26(日)	10:00～11:30	『ちようちようさがし講座』	沖縄市 沖縄こどもの国



体験プログラム



体験プログラム



自然観察会



最新情報・参加申し込みはホームページをチェック!!



こどもエコクラブ情報コーナー



活動レポート～みんなのエコロジカルアクション～

今年度から新しくメンバーに加わった、南城市の「エコホヌ」さんから初めての活動レポートが届きましたのでご紹介します。

クラブ名 エコホヌ(南城市) **活動テーマ** 『海のゴミ拾い』

活動日 2021年4月5日 **実施場所** 沖縄県南城市知念付近の海岸

参加メンバー&サポーター数 5人 **活動の分野** ごみ・リサイクル

活動内容 毎週月曜日に海のゴミ拾いをしています。自分たちなりのリストを作って何がいくつ落ちていたかカウントしています。

参加者のようす みんなでおしゃべりしながら拾っています。なんでこんなもの捨てるんだあああ～～～！あ、これなんだ？どっかでみたことある形だけ？あ！これ食べたことある～などなど、ずいぶん楽しんでます。

感想・気づいたこと・考えたこと 天気のいい週末の後はお弁当や釣り道具のゴミが多いです。風の強い日は大物が。と日によって落ちているものが変わります。

その他 活動報告は今回が初めてです！活動は去年のコロナ休校から始まり、晴れた月曜日に毎週集まって拾っています。3月にエコクラブのことを知り参加登録して4月からメンバーになりました。報告できるときに拾ったものリストと合わせて報告したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします！



◇地域環境センターから一言◇

海のゴミ問題を自分事ととらえ、積極的にエコロジカルアクションに取り組んでいる様子が見えまます。これからも楽しみながら活動を続けてくださいね。地域環境センターでは「エコホヌ」さんから届いた活動BOOKや壁新聞を展示しています。センターへお越しの際には、是非ご覧ください！

☆こどもエコクラブ メンバー募集中☆

こどもエコクラブとは、幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。地域環境センターでは、エコクラブ事務局としてクラブ活動を支援・応援していきますので、興味のある方は、まずは、地域環境センターまで問い合わせください。

- メンバー対象年齢:3歳～18歳(高校生はサポーター登録可)
- 登録料・年会費:無料 詳しくはこどもエコクラブHPへ▶



沖縄県からの情報

「沖縄県気候非常事態宣言」を令和3年3月に宣言しました！

沖縄県は、世界的な課題でもある気候変動に対して、県全体で現状とその認識を共有し、行政・県民・事業者が一丸となって気候変動対策に取り組んでいくことを決意するため「沖縄県気候非常事態宣言」を行いました。

温室効果ガスの削減に取り組む「緩和策」と、気候変動に備える「適応策」を両輪として、気候変動による影響の防止・軽減に努め、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、「ゆいまーの精神」で共に取り組んでいきましょう！

☆宣言の内容☆

- ①県全体で連携し、気候変動に対処した環境・経済・社会の持続可能な発展に向けて取り組む。
- ②2050年度に向けて温室効果ガス排出量を実質ゼロにする。(ゼロカーボンシティ宣言)
- ③美ら島沖縄を次の世代に引き継ぐ。

※宣言の内容やライフスタイルへの行動変容方針は、沖縄県環境部環境再生課のホームページに掲載しています。

<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/saisei/okinawakennkikouhijyoujitaisennngenn.html>



☆今日から取り組んでみよう～気候変動に適応したライフスタイルへの行動変容方針～☆

- ①脱炭素に向けたライフスタイルへ転換しましょう。
- ②LED照明などの低炭素製品を選択しましょう。
- ③公共交通機関などの低炭素サービスを選択し、ごみの削減とリサイクルを進めましょう。
- ④エコドライブを実践するなど自動車と正しく付き合しましょう。
- ⑤台風、集中豪雨、高潮、河川氾濫等について、地域の情報を得て適切に備えましょう。
- ⑥これまでの経験にとらわれない熱中症対策を心がけましょう。



出典：気候変動適応情報プラットフォーム

沖縄県地域環境センター 主な活動報告



5月23日『佐敷干潟自然観察会』

(感染症対策緊急事態宣言が発令された為オンラインライブ配信のみ実施)



南城市の佐敷干潟は、沖縄島南部東海岸、中城湾南奥域にある泥干潟です。日本で沖縄本島だけに棲む希少な『トカゲハゼの稚魚』や『シオマネキの仲間たち』、『砂茶碗』(タマガイの卵のう)など泥干潟特有の生き物たちの様子を観察しました。

啓発活動実績

□環境教育出前講座

- 4/19(月) ホテル日航アリビラ『捨てるものが役に立つとき～古着で布ぞうり作り～』
- 5/10(月) うるま市立赤道小学校放課後子ども教室『リサイクル工作～ペーパーピース作り～』
- 5/14(金) あじゃ保育園『森の指令ゲーム』
- 5/20(木) 県立沖縄盲学校『さわって考えよう!カメってどんな生き物?』
- 5/21(金) 浦添市立神森小学校『食べ物探偵団』
- 6/30(水) 浦添市立沢岬小学校『災害を知ろう。』(ZOOMオンライン講座)

□環境啓発体験プログラム/自然観察会

- 5/23(日) 『佐敷干潟自然観察会』 Facebook live配信
- 6/6(日)、13(日) 何がすごい!何ですごい!琉球列島 Facebook live配信
- 6/20(日) ZOOMで自然観察会『身近な自然を見てみよう』
オンライン自然観察会

※live配信は、公式Facebookのアーカイブで視聴できます。▶



貸出物のご案内

地域環境センターでは、環境に関する図書・DVD・パネル等の教材を収集し、無料で貸し出しを行っております。イベントや学習会などにどうぞご利用下さい。

☆オススメ書籍



おきなわ自然さんぽ

著者: 鹿谷麻夕・鹿谷法一・藤井晴彦・佐藤寛之
発行所: 琉球新報社
沖縄の自然や生き物たちの面白さを紹介しています。

☆オススメ教材



食べもの探偵団

給食や毎日のごはんなどを通して、食べものとエネルギーの関係(旬や地場)に気づき、自分の暮らしをふりかえり、旬や地場を活かした食生活につなげます。



沖縄の季節を探そう

沖縄の風や季節の名前などを知ることで沖縄の自然の特性に気づき、季節の生きものクイズで季節と生きもの関係などに興味を持ち、身近な季節の生きものを観察につなげていくことで、四季の移り変わりを自然から気づく感性を育みます。



環境学習なら沖縄県地域環境センターへ

沖縄こどもの国チルドレンズセンター1階にある沖縄県地域環境センターでは、環境図書の閲覧ができるほか、環境教材の貸し出しや環境学習相談、地域や学校等での出前講座・自然観察会・リサイクル工作・啓発イベント等を実施しています。相談は随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

<https://kankyo-center.okinawa>



令和3年7月(No.3)

発行者 沖縄県環境部環境再生課

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2064 FAX.098-866-2497

編集・お問い合わせ先

公益財団法人 沖縄こどもの国
(沖縄県地域環境センター)

〒904-0021 沖縄市胡屋5-7-1 TEL.098-933-4190 FAX.098-932-1634

<https://kankyo-center.okinawa> Mail: kankyo-center@okzm.jp

Facebookアカウント

@okinawakankyocenter



twitterアカウント

@kankyookinawa

